

ねらい

高地にくらす人々の生活の様子と自然及び社会的条件とのかかわりについて理解しているかどうかをみる問題です。

2 (4) 下の資料は、地図中のA～Eのどの地域の様子を表したのか。最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

(地図)

(資料) ある地域で飼育されている家畜と伝統的な衣装いしやう



学習指導要領における内容

(1) - イ 世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。

指導上のポイント



資料をみると、帽子をかぶったり、暖かそうな服を着ています。



なぜ、こうした服装をしているのだろう。



寒いから、暖かそうな服を着ていると思う。また、帽子をかぶっているということは、日差しが強いのかな。



伝統的な衣装と気候は関連しているのかな。この地域では、どのような気候をしているのだろう。また、食事や住まいの様子についてはどうなのかな、調べてみよう。



今もこうした服装で過ごしているのだろうか。現在の生活の様子についても調べてみようかな。

世界各地の人々の生活の様子については、気候の特色などの自然的条件や伝統的な生活様式などの社会的条件と関連付けて考えさせましょう。

地図帳等を利用して、世界の気候の分布について確認させ、緯度や標高等によって気候の違いが生まれることに気付かせましょう。また、同じ緯度であっても季節風や海流等の影響を受けることで、気候に違いが生まれることも理解させましょう。世界各地の気候の特色については、例えば、日本の気候のグラフと比較させる等の工夫を行い、その違いについて気付かせましょう。

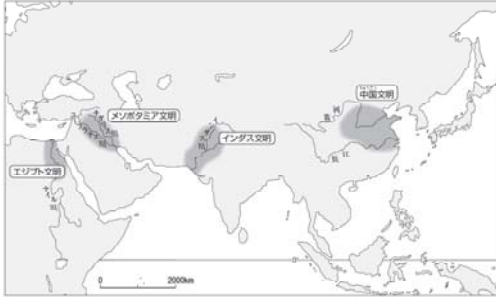
伝統的な生活様式が、他の文化との接触や新しい技術の導入、経済活動の活発化によって変容してきていることについても、現在の生活の様子を調べさせるなどして理解させましょう。

## ねらい

世界の古代文明が大河の流域でおこった理由について、農耕の発達との関連から理解しているかどうかをみる問題です。

- 5 (5) 下の略地図は、古代文明<sup>こだいぶんめい</sup>がおこった地域を示している。古代文明がおこった理由の一つとして考えられることを、資料と関連付けて説明せよ。ただし、「大河」という語句を使い、解答欄の書き出しに続けて書くこと。

(略地図)



(資料)



古代文明がおこったのは、(

)。

## 学習指導要領における内容

- (2) - ア 世界の古代文明や宗教のおこり，日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどを通して，世界の各地で文明が築かれ，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。

## 指導上のポイント



略地図をみると、大河の流域に古代文明がおこっているように思います。なぜ、大河の流域に古代文明がおこったのだろう。



多くの人々が暮らすには、たくさんの水が必要だったからではないかと思います。また、物や人を運ぶのに便利だったからではないでしょうか。



そうですね。ところで、この資料は、古代エジプトの農業の様子を表しています。この資料との関連で考えられることはないかな。



作物を育てるには、多くの水が必要だったのではないかと思います。だから、大河の流域で農業が発達し、多くの人々が住むようになり、文明がおこってきたのではないかと思います。

大河の流域で世界の古代文明がなぜおこったのか、その理由について考えさせましょう。その際、例えば、古代エジプトの農業の様子などの資料を基に農耕の発達によって定住生活が始まり、小さな国が生まれ、それらの国々が統一されていき、文明が生まれていったことを理解させましょう。また、それぞれの文明には、文字の使用や国家のおこりと発展などの共通する特色があることについても気付かせましょう。

国家の発展にともなって、仏教、キリスト教、イスラム教などの宗教が生まれてきたことについて理解させるとともに、地図帳等を活用して、仏教、キリスト教、イスラム教が広い地域に広まっていったことに気付かせましょう。